

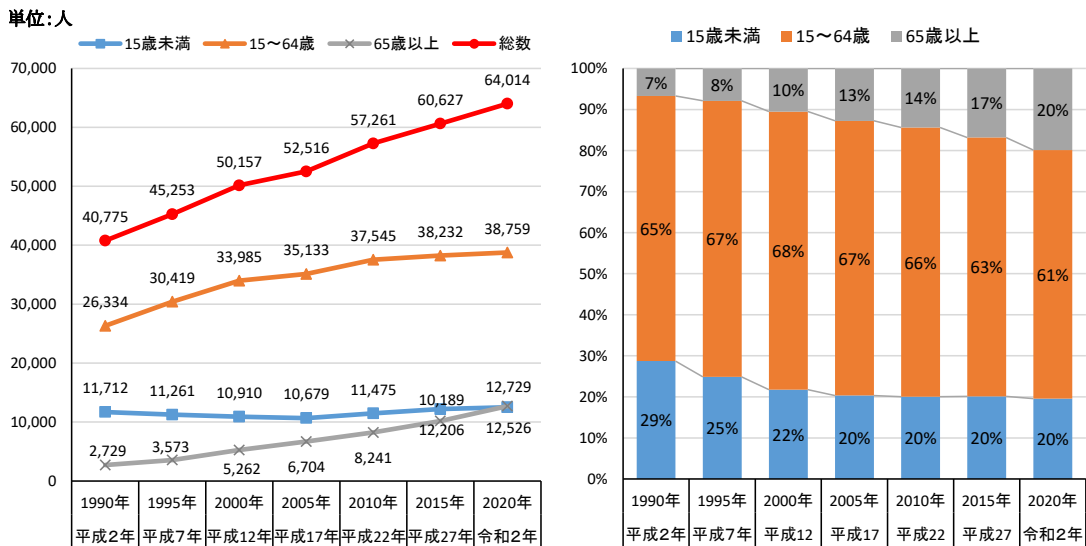
# 豊見城市の公共交通を取り巻く現状と課題

## 1. 豊見城市の人口と施設立地等

### 1.1 人口

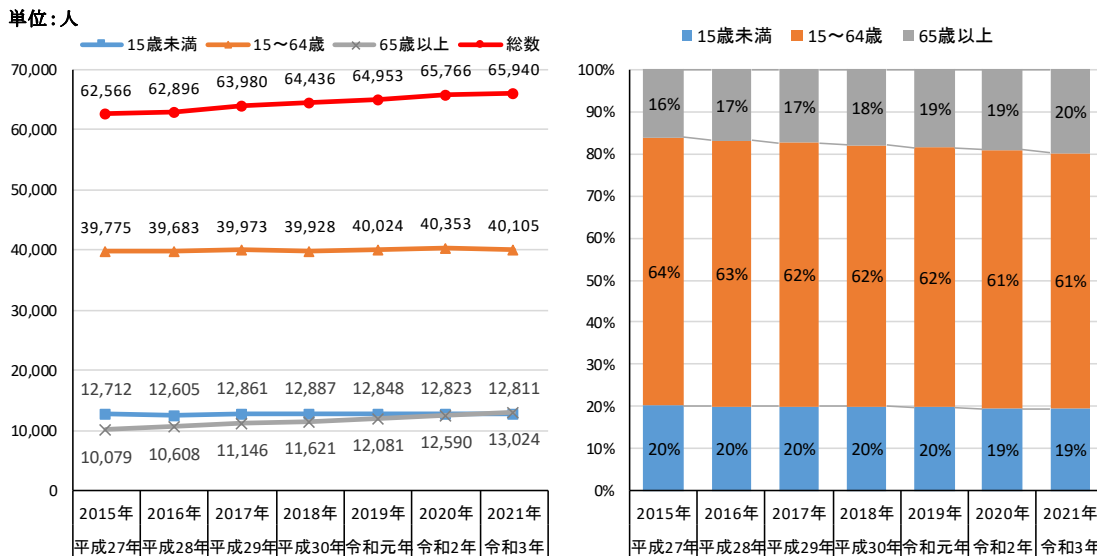
#### 1.1.1 人口の推移

- 豊見城市の総人口は増加を続けており、令和2年の国勢調査ベースでは64,014人となっています（年齢不詳者を除く）。
- 人口の年齢構成は、15歳未満の割合は横ばい、65歳以上の割合が増加している傾向にあることから、少子高齢化が進行していることが確認できます。



【資料】国勢調査（平成2年～令和2年）

図1 豊見城市の人口推移（国勢調査）（平成2年-令和2年）



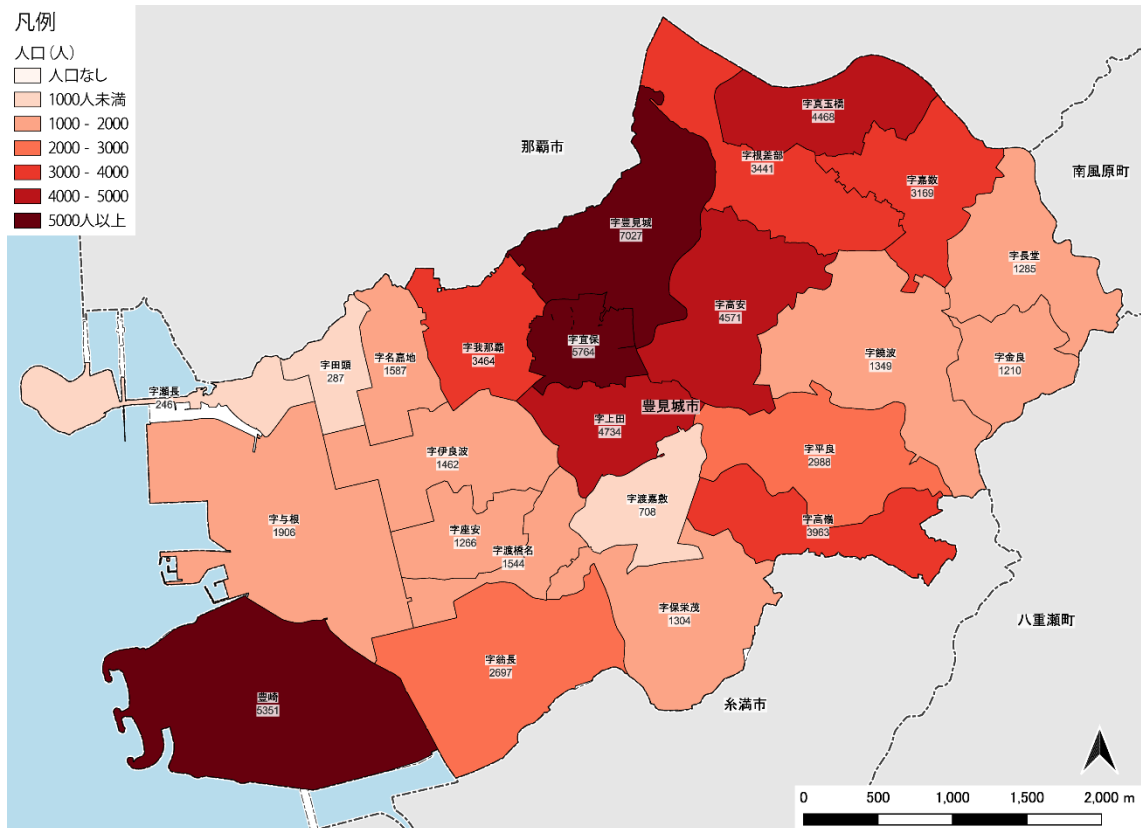
【資料】豊見城市住民基本台帳（各年12月末の数値を使用）

図2 豊見城市の人口推移（住民基本台帳）（平成27年-令和3年）

## 1.1.2 人口の分布

### (1) 人口分布（全年齢）

- 豊見城市内の人口は、豊見城・宜保地区の市街地地域および豊崎地区に集中しています。また、この3地区以外では、那覇市に近い真玉橋や、市中央に位置する高安・上田などの地区で人口が多く分布していることが確認できます。

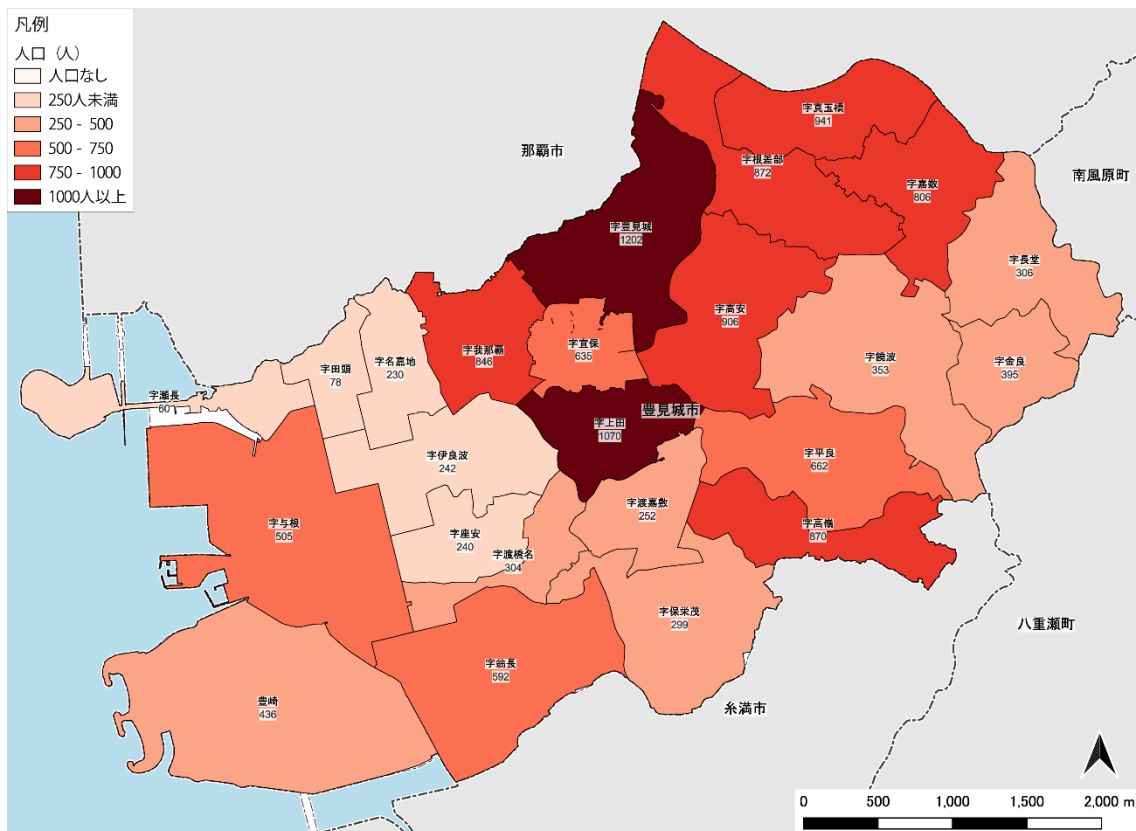


【資料】豊見城市住民基本台帳（令和4年6月時点）

図3 豊見城市の行政区別人口（令和4年）

## (2) 高齢者の人口 (65 歳以上)

- 豊見城、上田などの中央部において、高齢者 (65 歳以上) の人口が 1,000 人以上と多くなっています。
- 県道 256 号沿いの名嘉地・田頭・瀬長・伊良波・座安では、高齢者 (65 歳以上) の人口が 250 人以下と少ない傾向にあります。

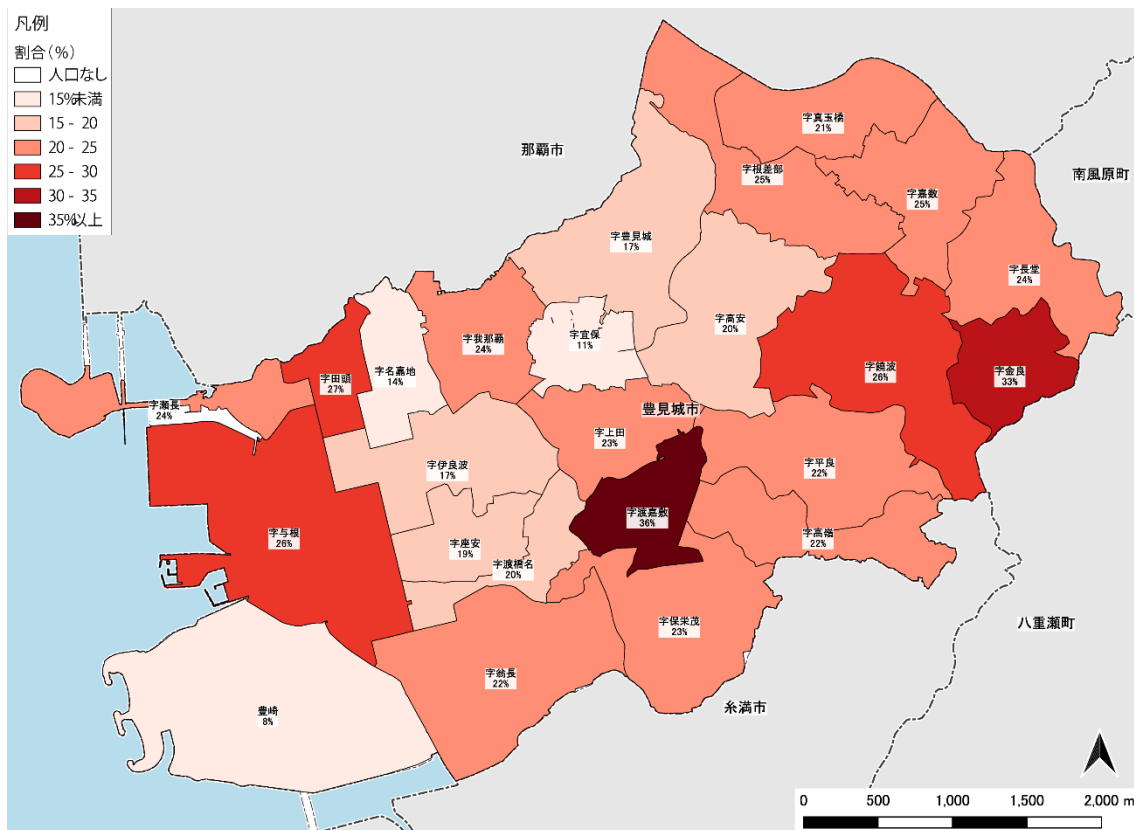


【資料】豊見城市住民基本台帳 (令和 4 年 6 月時点)

図 4 豊見城市の行政区別 65 歳以上人口 (令和 4 年)

### (3) 高齢者の人口割合（65歳以上）

- 渡嘉敷・金良などの郊外部において、高齢者（65歳以上）の人口割合が30%以上と高くなっています。
- 豊崎や名嘉地・宜保では、他の地区と比較して高齢者（65歳以上）の人口割合が15%以下と低い傾向になっています。



【資料】豊見城市住民基本台帳（令和4年6月時点）

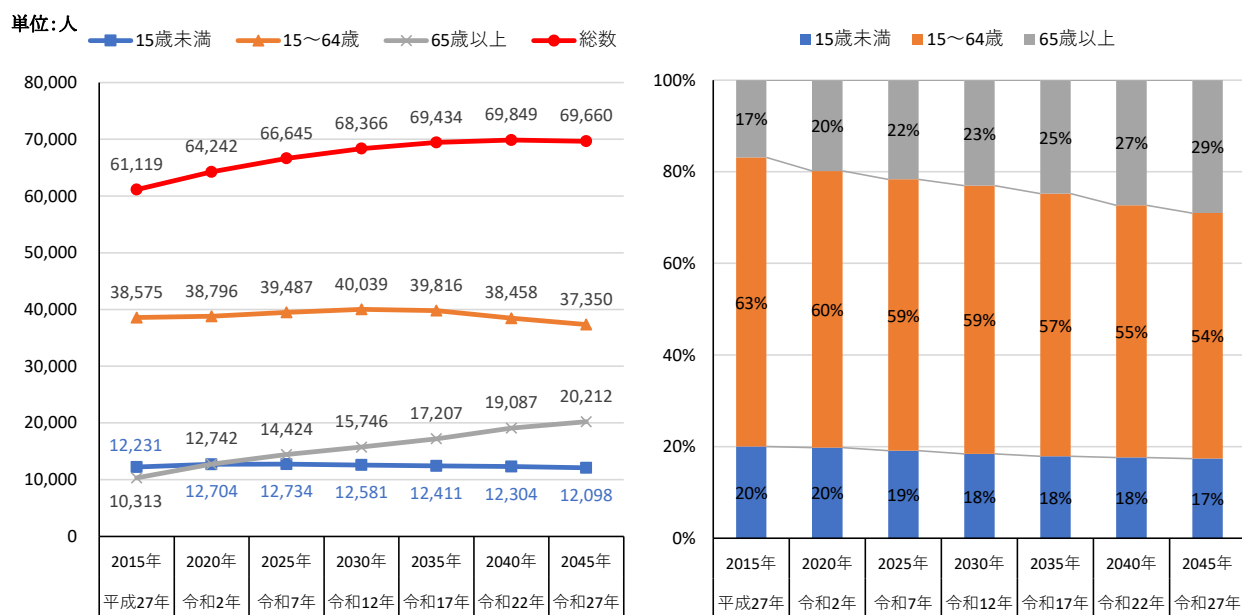
図5 豊見城市の行政区別65歳以上人口の割合（令和4年）



### 1.1.3 将来予測

#### (1) 推移

- 豊見城市内の人口は、2015年（H27年）から2035年（R17年）の約30年間で約6.1万人から約7万人に増加することが予測されます。
- また、全国平均や県平均と比較すると高齢化の進展は遅いとされますが、2025年（R7年）には高齢化率約22%（超高齢化社会）となることが予測されます。



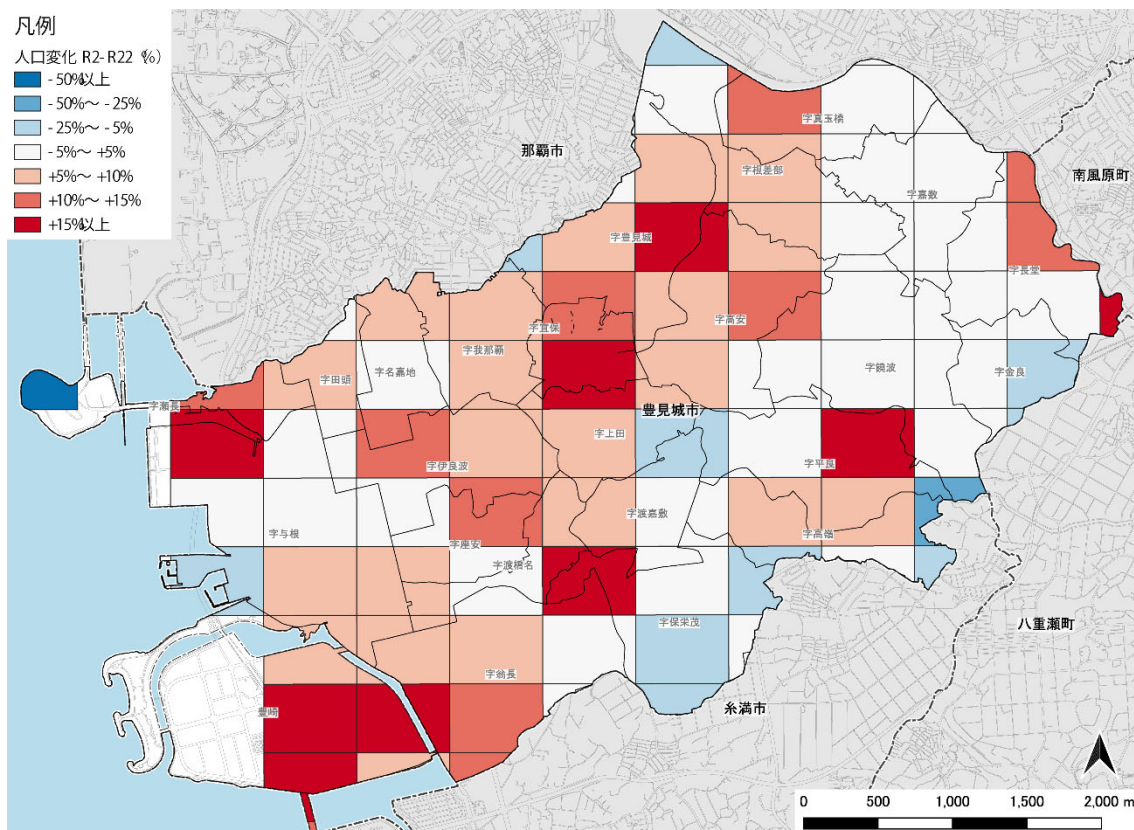
【資料】日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）

図6 豊見城市の将来人口推移

## (2) 将来人口分布

### ① 人口変化（令和 2 年～令和 22 年）

- 豊見城市内では令和 22 年の人口が現在よりも増加している箇所が多く、特に豊見城・宜保・平良・保栄茂・豊崎・与根の各地区では 15%以上の増加と予測されます。

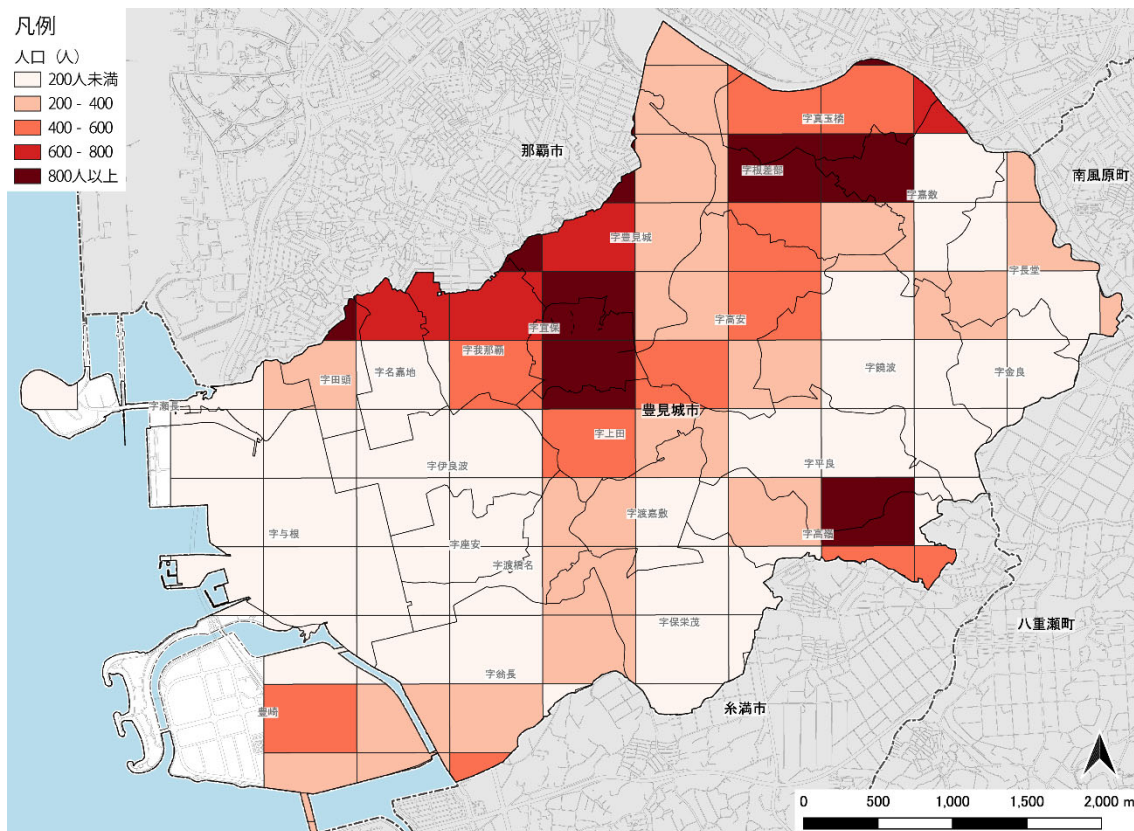


【資料】 500m メッシュ別将来推計人口データ（H30 国政局推計）（国土数値情報）に基づき作成

図 7 将来人口変化（全年齢、令和 2 年～令和 22 年）

## ② 65 歳以上の人口（令和 22 年）

- 令和 22 年の時点で、高齢者は宜保・根差部・嘉数・高嶺の各地区で 800 人以上に達すると予測されます。

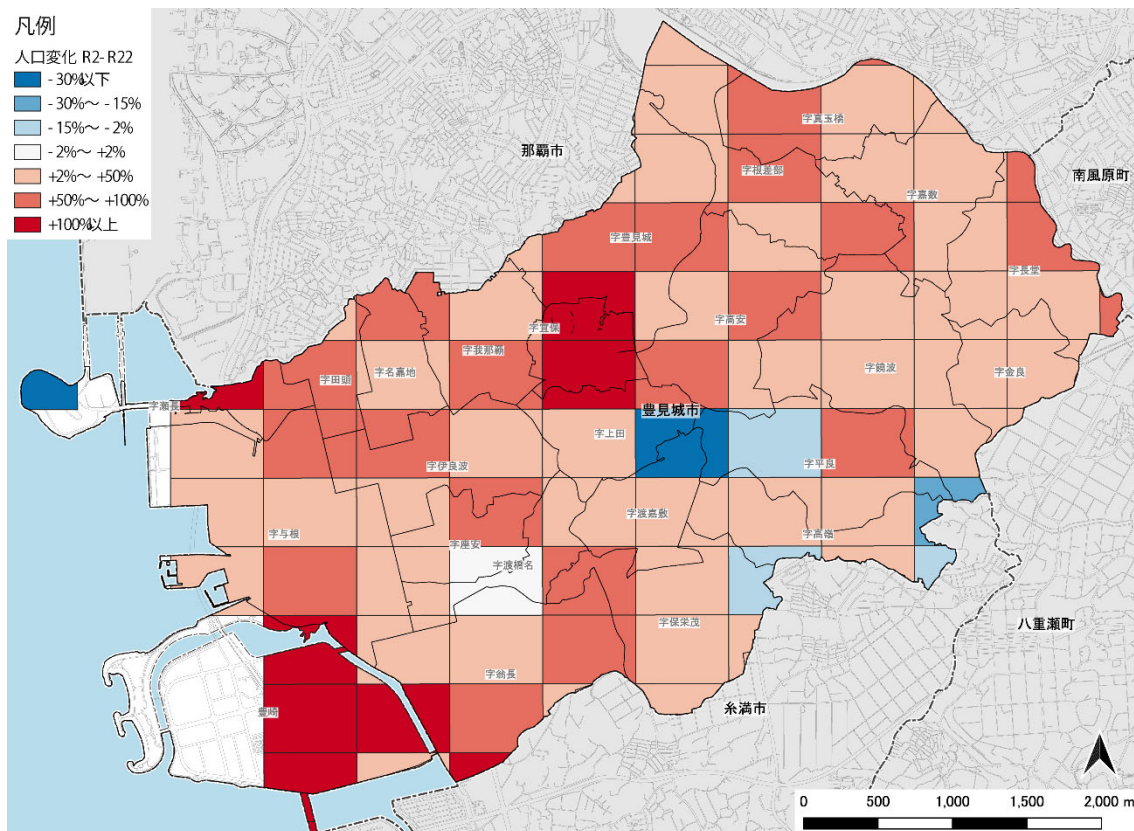


【資料】 500m メッシュ別将来推計人口データ（H30 国政局推計）（国土数値情報）に基づき作成

図 8 将来人口（65 歳以上、令和 22 年）

### ③ 65歳以上の人口変化（令和2年～令和22年）

- 高齢者は市のほとんどで増加と予測されており、特に宜保・瀬長・豊崎の各地区で100%以上の増加と予測されます。



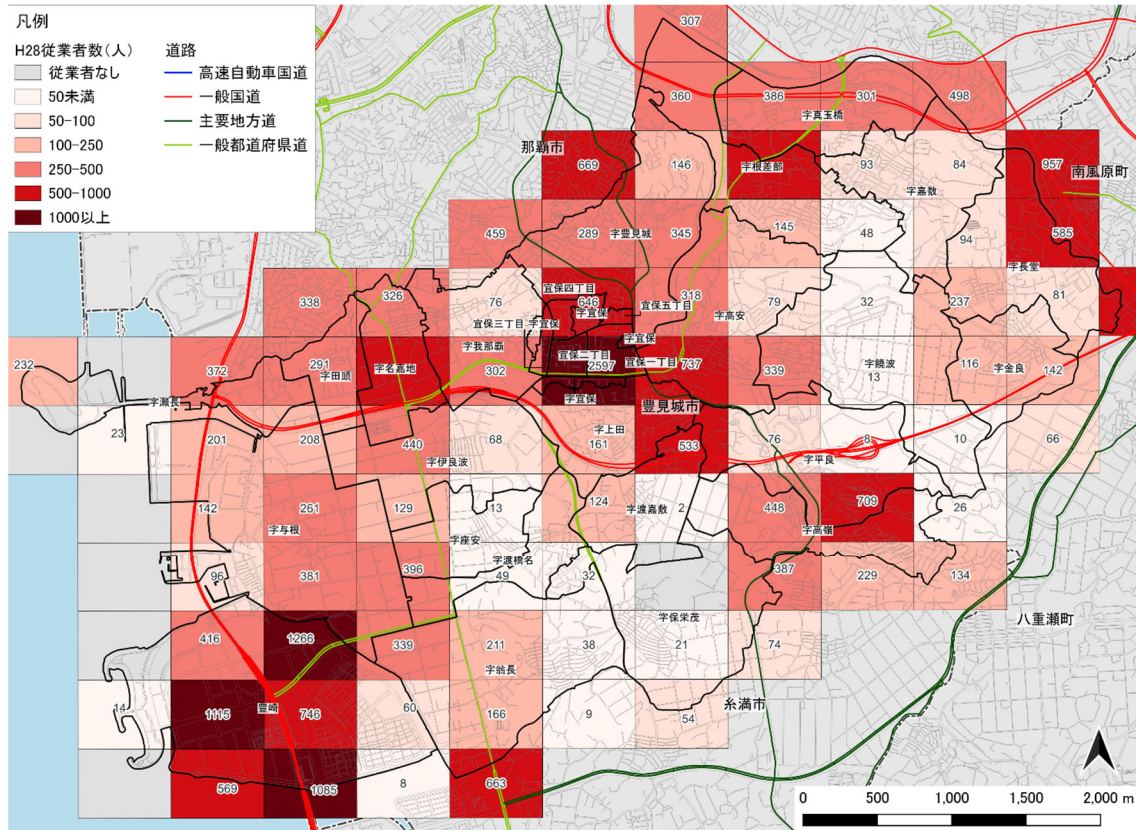
【資料】 500mメッシュ別将来推計人口データ（H30国政局推計）（国土数値情報）に基づき作成

図9 将来人口変化（65歳以上、令和2年～令和22年）



### 1.1.4 従業者数の分布

- 従業者数は、宜保地区および豊崎地区に集中しています。また、名嘉地・根差部・高安等においても、従業者数は比較的多い傾向にあります。



【資料】地理院地図、平成 28 年経済センサス-活動調査（総務省統計局）を基に作成

図 10 豊見城市の従業者数分布



## 1.2 施設立地

### 1.2.1 公共施設

- 公共施設は、中央に位置する豊見城市役所とその周辺に郵便局・消防署・中央図書館・総合公園・中央公民館などが点在し、市内各地に各地区の公民館や地区・団地等の自治会が点在しています。
- 海沿いの与根には、豊見城市民体育館が立地します。



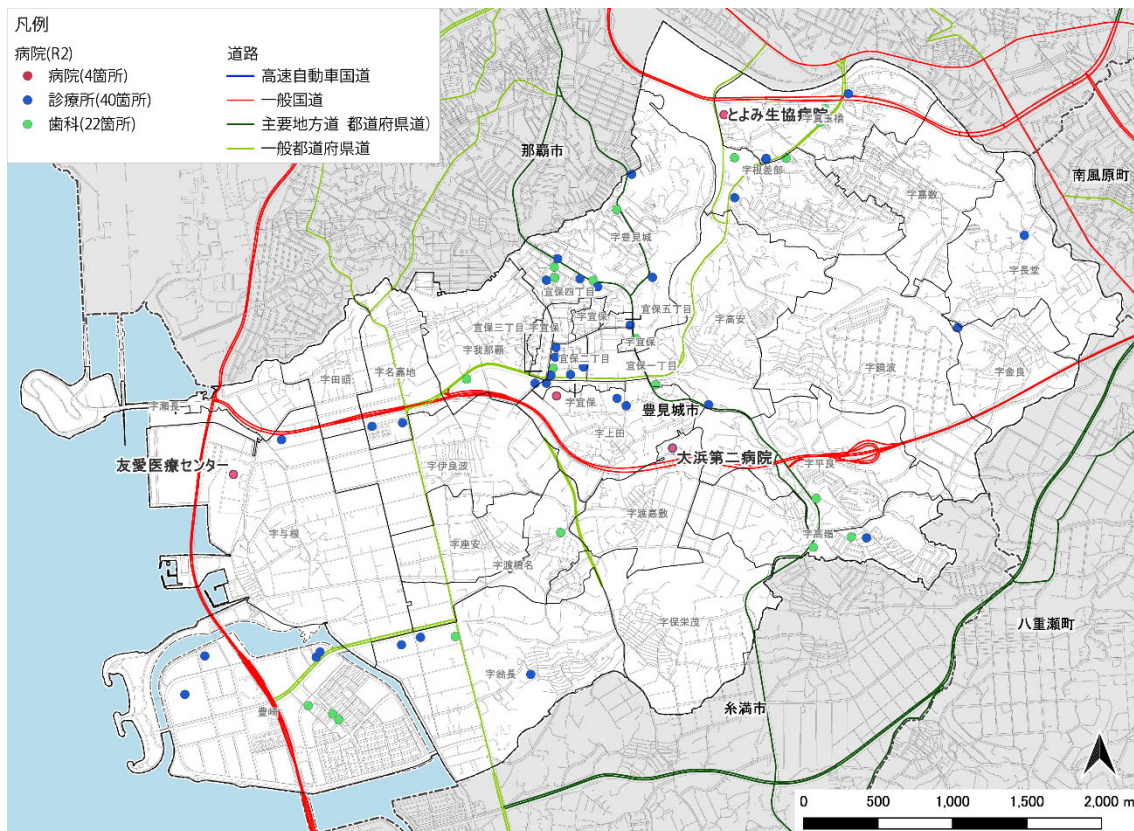
【資料】地理院地図、国土数値情報（市町村役場等及び公的集会施設データ）を基に作成  
（共同利用施設は公民館等と重複しているため、地図上の点数と合致しない）

図 12 豊見城市の公共施設の立地



## 1.2.2 医療機関

- 市中心部に豊見城中央病院、与根に友愛医療センター、真玉橋にとよみ生協医院、渡嘉敷に大浜第二病院が位置しており、地域医療を支えています。
- 診療所や歯科は、宜保や真玉橋など人口が集中している地域を中心に立地しています。



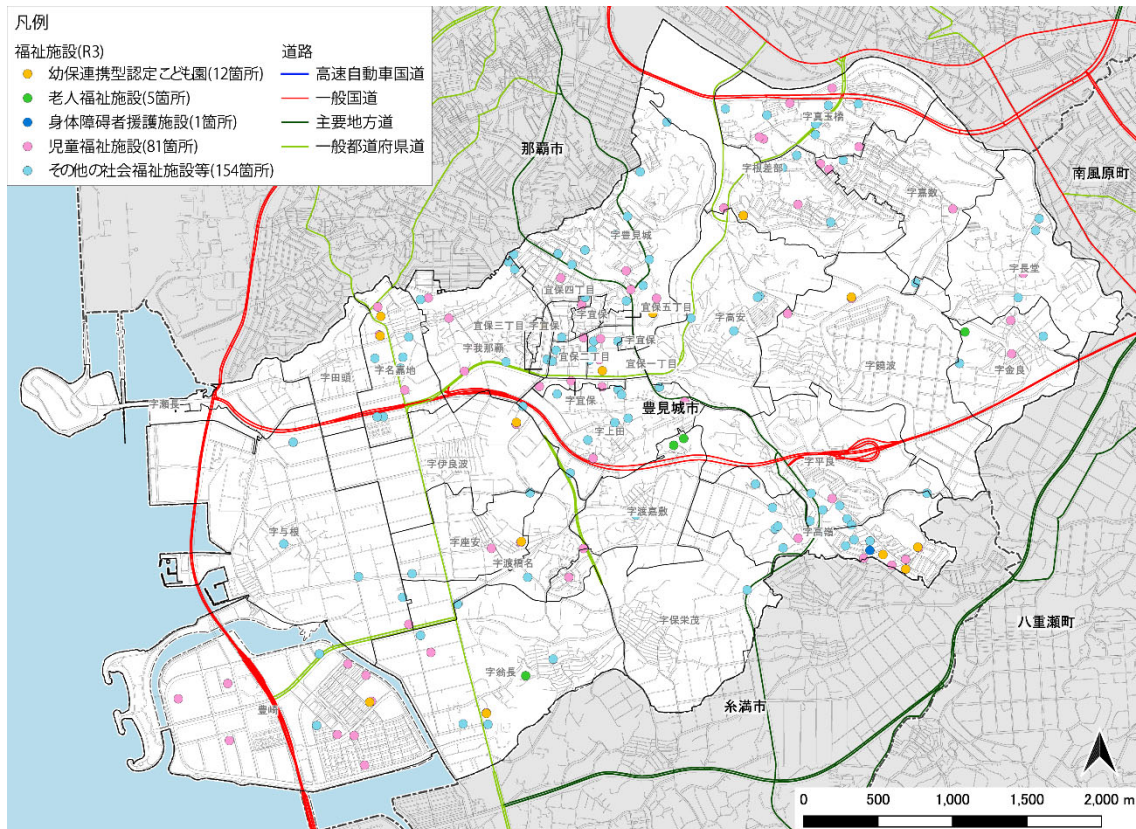
【資料】地理院地図、国土数値情報（医療機関・令和2年度）を基に作成

図 13 豊見城市の医療機関の立地



### 1.2.3 福祉施設

- 福祉施設は、宜保・豊見城を中心に立地しています。また、名嘉地・高嶺・真玉橋の国道、主要地方道沿いにも立地しています。

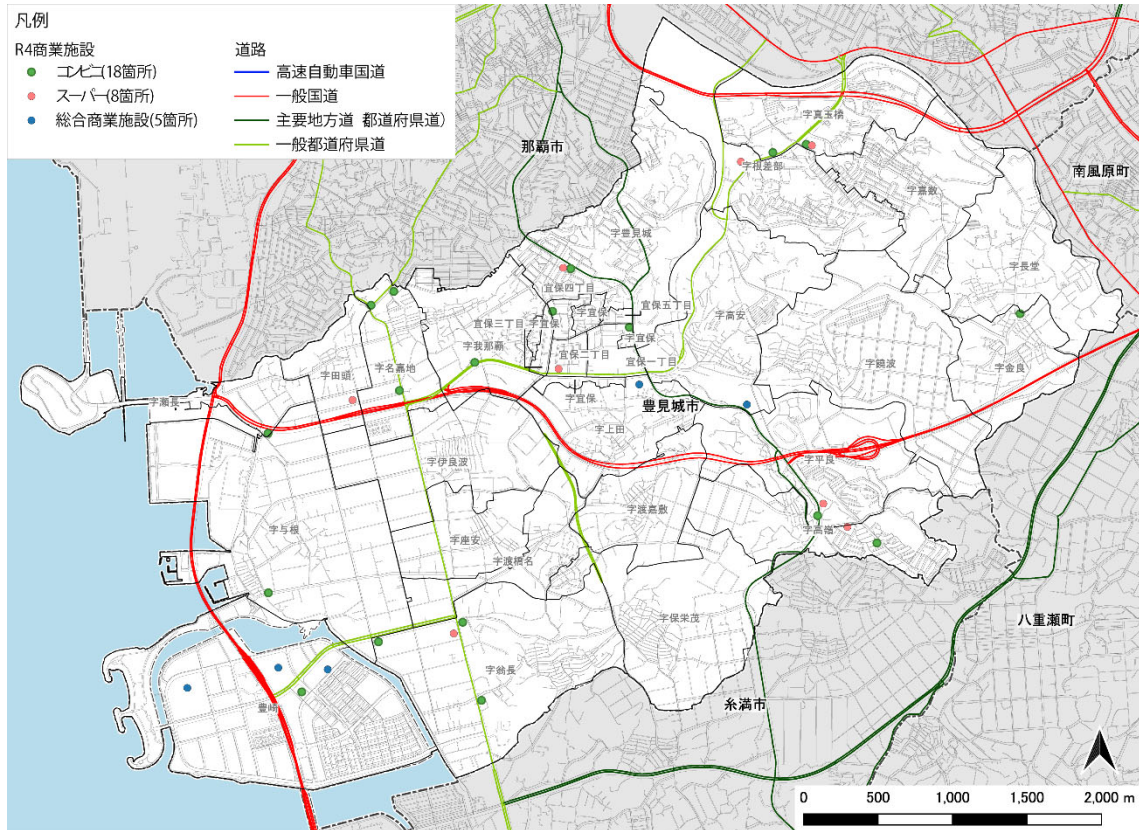


【資料】地理院地図、国土数値情報（学校・令和3年および福祉施設・令和3年）を基に作成

図 14 豊見城市の福祉施設の立地

## 1.2.4 商業施設

- 商業施設は、市役所周辺の宜保や豊崎・豊見城団地を中心に立地しています。また市内各所にコンビニエンスストアが立地しています。



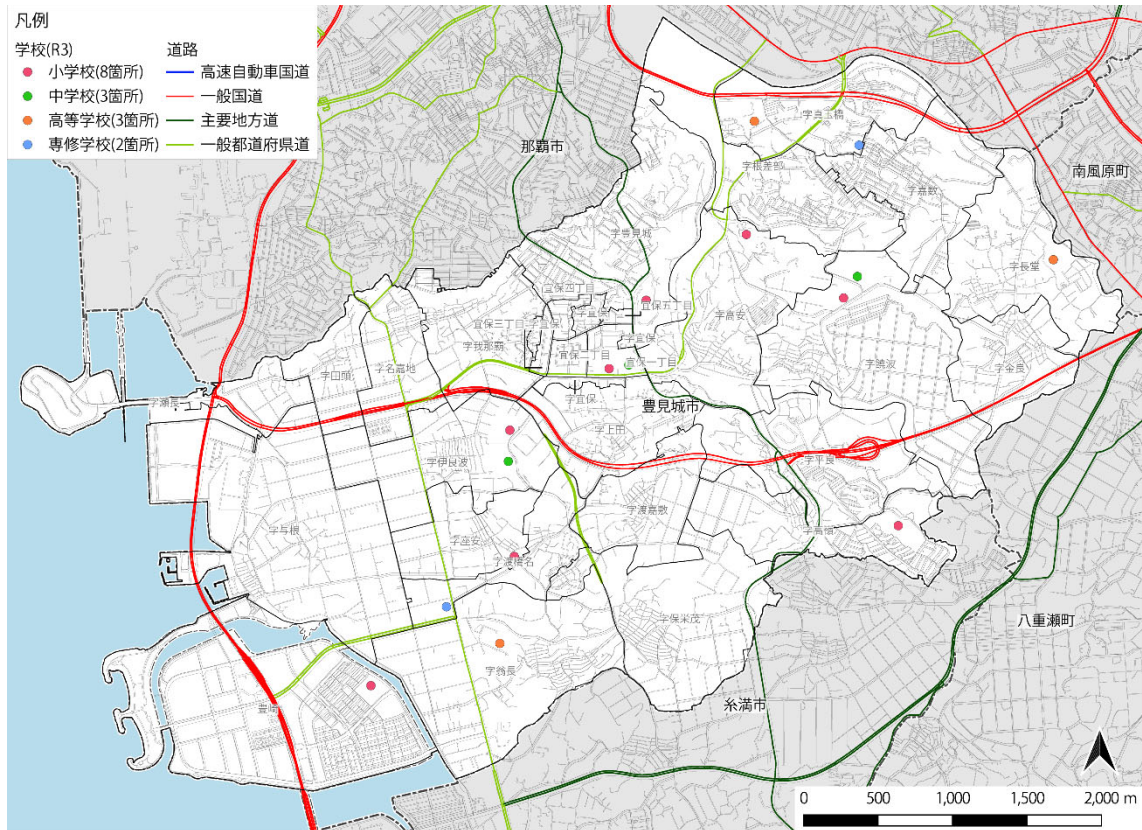
【資料】地理院地図、各社 HP の情報（令和4年7月時点）を基に作成

図 15 豊見城市の商業施設の立地



## 1.2.5 学校

- 小学校や中学校は、豊見城・高安・上田・饒波・高嶺・伊良波・座安・豊崎のそれぞれに立地しています。
- 高校は市内に3校あり、真玉橋・長堂・翁長に立地しています。



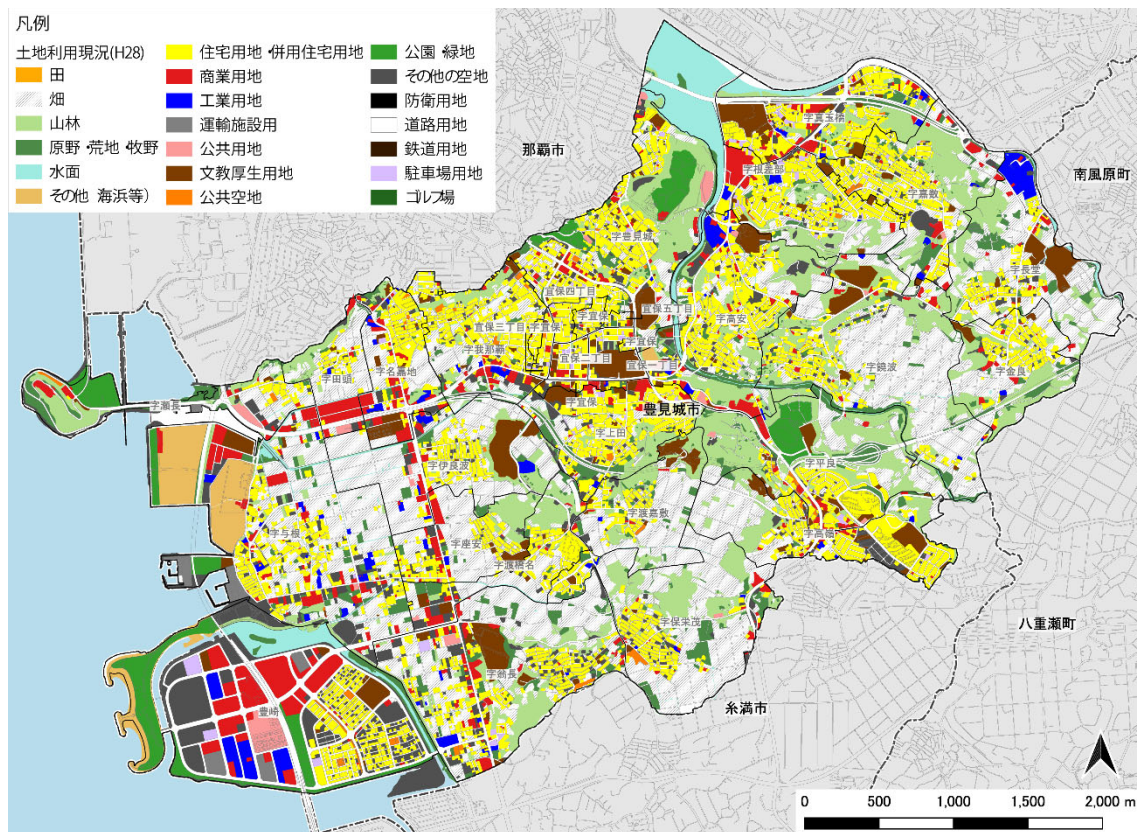
【資料】地理院地図、国土数値情報（学校・令和3年）を基に作成

図 16 豊見城市の学校の立地

## 1.3 土地の利用状況

### 1.3.1 土地利用現況

- 市街地地域や国道沿いに住宅用地が存在しており、市西部では工業用地の一定の集積が見られます。
- 市東部では山林が多く広がっており、市街地地域及びその周辺とそれ以外の地域で土地の利用傾向が異なることが確認できます。
- 近年では、市南西部でイーアス沖縄豊崎・アウトレットモールあしびなーによる商業地域開発、与根で友愛医療センターが立地しています。



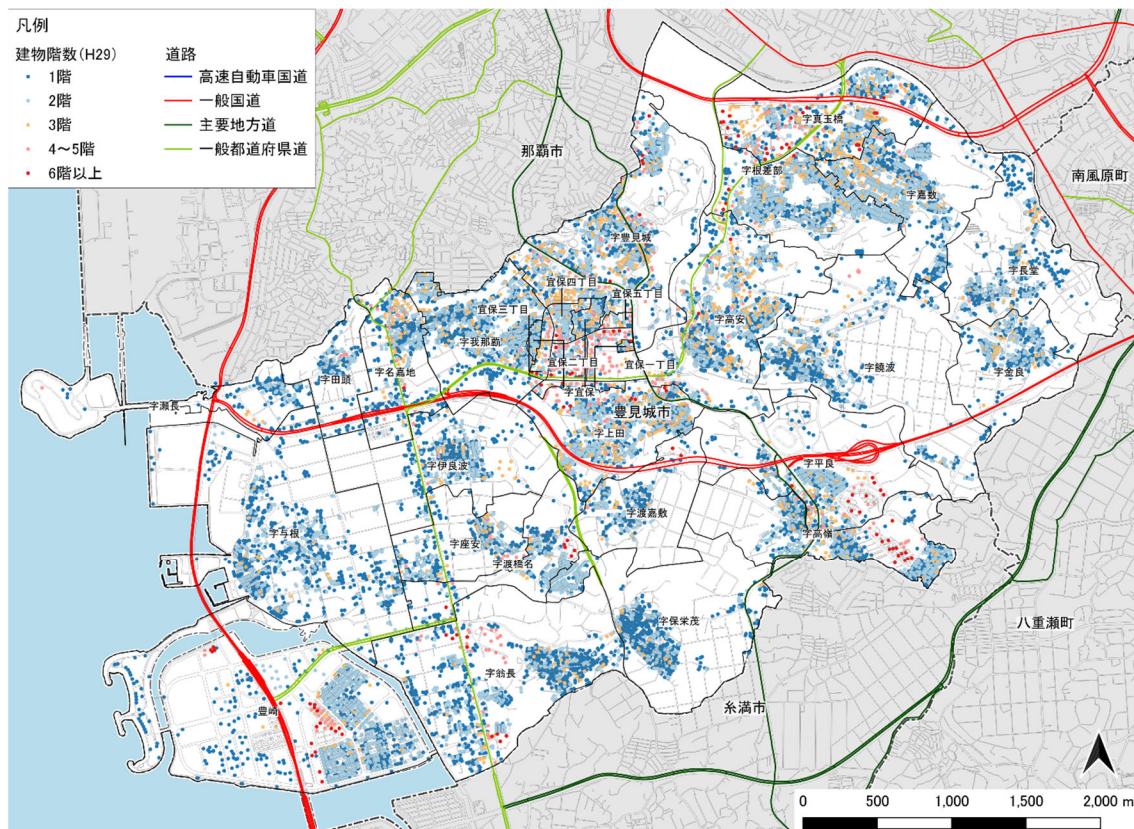
【資料】平成 28 年度都市計画基礎調査

図 17 豊見城市の土地利用状況



### 1.3.2 建物現況

- 市街地地域及び国道沿線、主要地方道を中心に存在しており、豊見城市全体では1～2階の低層建物が多い傾向です。
- 市役所の位置する宜保や豊見城団地のある平良など、一部地区では3階以上の高層建築が確認できます。

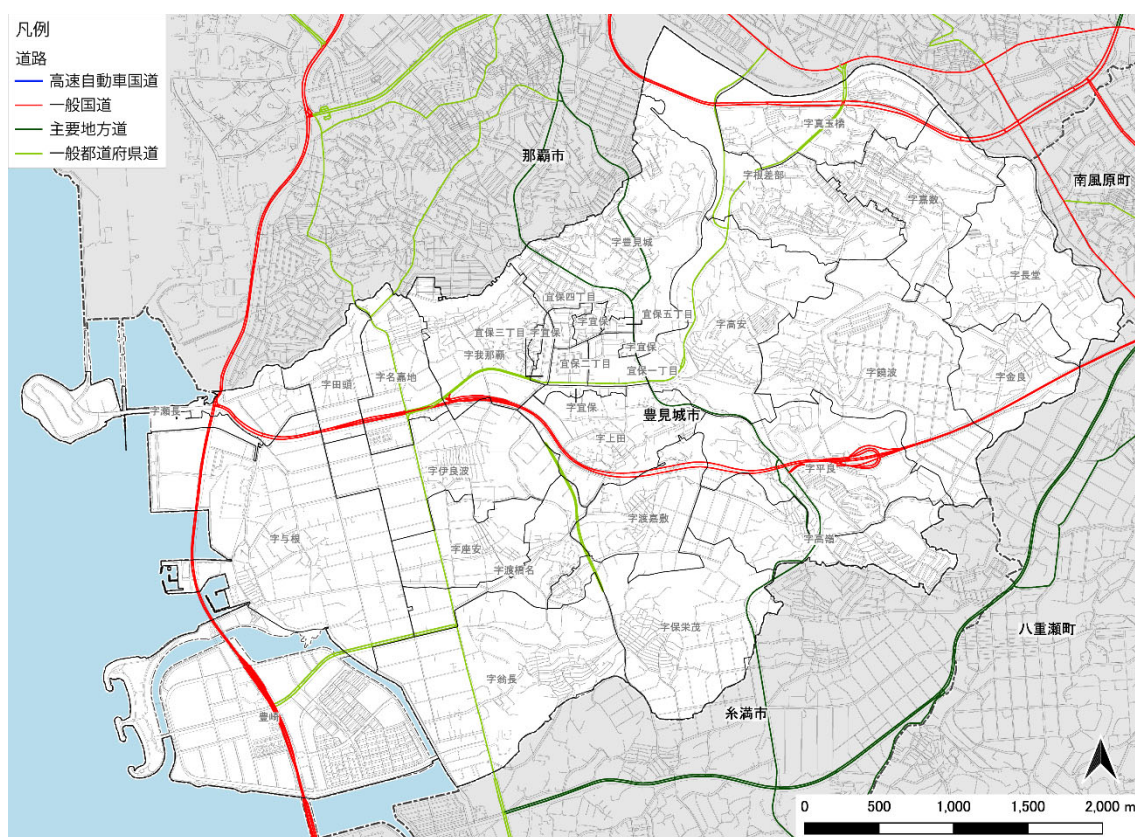


【資料】地理院地図、平成 29 年度都市計画基礎調査を基に作成  
図 18 豊見城市の建物現況

## 1.4 道路および自動車の状況

### 1.4.1 道路の概況

- 豊見城市の海側を南北に貫く豊見城道路、市を東西に貫いて小禄バイパス経由で那覇空港に直結する那覇空港自動車道を中心として、西側の平野部と東側の山間部を網の目のように張り巡らされています。
- 奥武山公園方面からは県道7号線（奥武山米須線）が市中心に位置する市役所脇を走り、糸満市へと抜けています。



【資料】国土数値情報

図 19 豊見城市の道路網

## 1.4.2 自動車保有台数の推移

- 豊見城市の自動車の総保有台数は令和2年度まで増加傾向にありましたが、令和3年度は特に乗用台数が減少に転じています。
- 観光需要の増加に伴い、自家用自動車有償登録台数（レンタカー）も増加傾向にありましたが、令和3年度は新型コロナ感染拡大の影響を受け、台数が減少しています。

表 1 豊見城市における自動車保有台数と  
自家用自動車有償登録台数の推移（各年度末時点）

（単位：台）

	貨物用	乗合用	乗用	特種（殊） 用途用	軽自動車	総計	自家用自動車 有償登録台数
平成28年	2,639	503	19,196	681	25,021	48,040	-
平成29年	2,751	536	20,412	715	25,347	49,761	-
平成30年	2,910	584	22,273	743	25,811	52,321	-
平成31年	2,942	593	24,338	766	26,233	54,872	-
令和2年	3,165	727	24,828	773	26,390	55,883	11,597
令和3年	3,343	653	22,578	765	26,404	53,743	8,506

※平成28年度～平成31年度においては小型二輪・軽二輪を除いた数（表黄色枠）。

※自家用自動車有償登録は令和2年度以降、市町村単位での台数報告に変更。

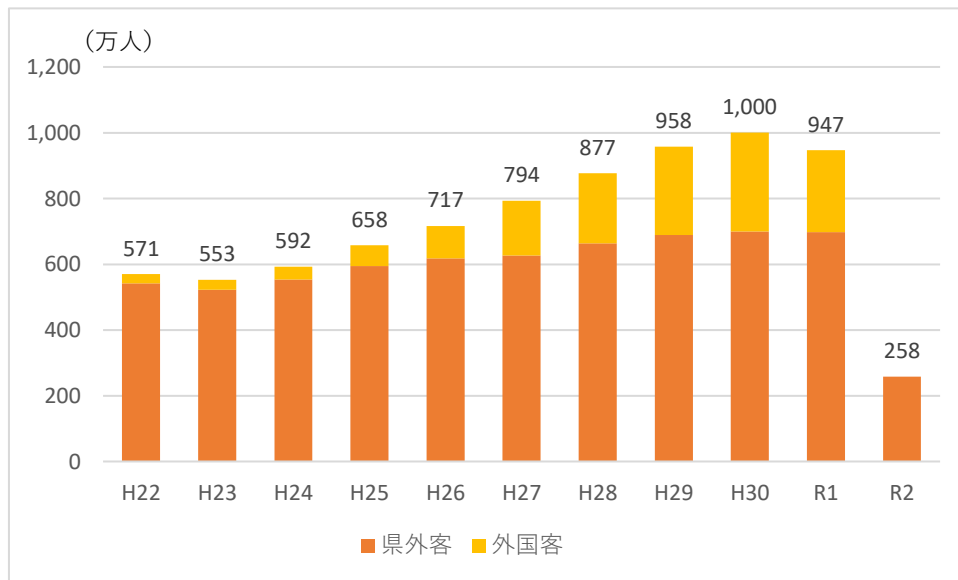
※自家用自動車有償登録台数は、左側の車種別登録台数に含まれる。

【資料】「業務概況 平成28年版」沖縄総合事務局陸運事務所  
「業務概況 平成29年版」沖縄総合事務局陸運事務所  
「業務概況 平成30年版」沖縄総合事務局陸運事務所  
「業務概況 平成31年版」沖縄総合事務局陸運事務所  
「業務概況 令和2年版」沖縄総合事務局陸運事務所  
「業務概況 令和3年版」沖縄総合事務局陸運事務所

## 1.5 観光

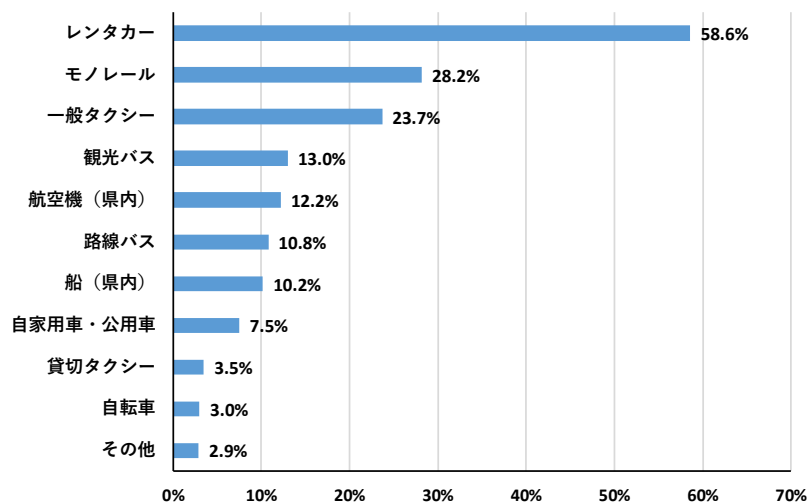
### 1.5.1 観光客の状況

- 沖縄県の入込客数は、平成 24 年以降特に外国客が増加傾向となっており、平成 30 年には県外客・外国客計で 1,000 万人を超えましたが、令和 2 年 2 月に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で航空路線・クルーズ船等の国際線運航が停止したことにより、令和 2 年度は外国客がゼロ、県外客が 258 万人となりました。
- 沖縄県（離島含む）を訪れる観光客が沖縄県内での移動で使った交通手段は、レンタカーが約 6 割と高い傾向にあります。



【資料】令和 2 年版観光要覧（沖縄県）に基づき作図

図 20 沖縄県の観光客推移



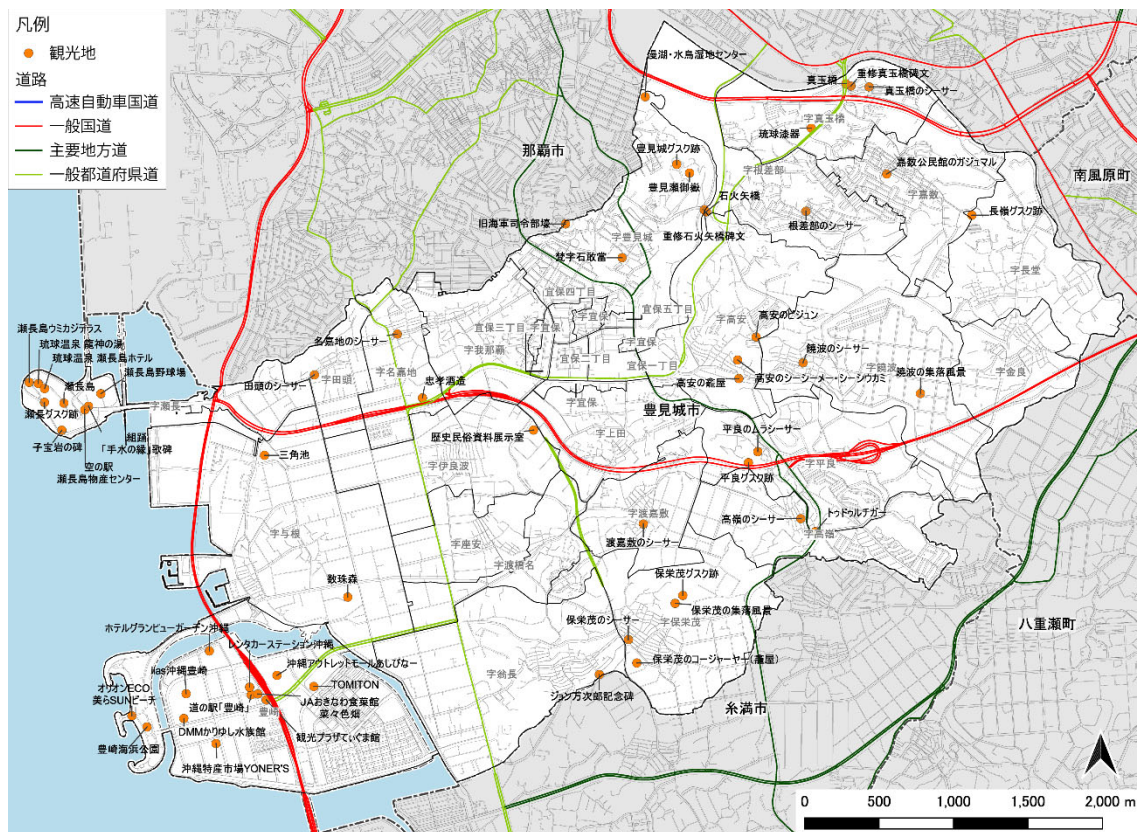
【出典】令和元年度観光統計実態調査（沖縄県）

図 21 沖縄県内における観光客の移動手段



## 1.5.2 観光地の立地

- 近年観光拠点としての開発が進められている豊崎や瀬長島には、ホテルや水族館・アウトレットモールなど、観光客向けの施設が多く立地しています。
- グスクやシーサーなどの歴史的遺物が市内全域に点在しています。



【資料】地理院地図、豊見城市 HP 観光情報、豊見城市観光振興基本計画（H25）を基に作成

図 22 豊見城市の観光地

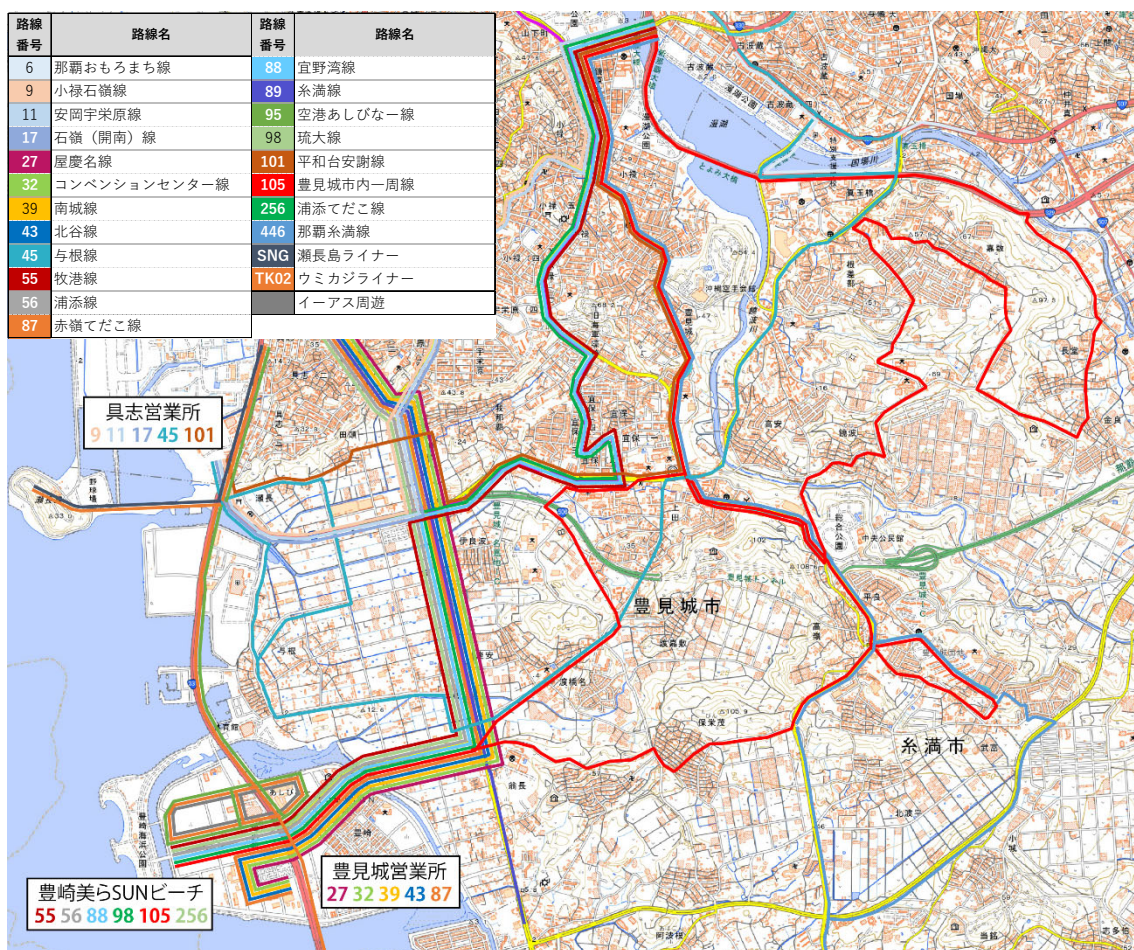
## 2. 地域公共交通の現状

### 2.1 路線バスの運行・利用状況

#### 2.1.1 運行状況

##### (1) 運行ルート

- 豊見城市内の路線バスは、南部の糸満市から那覇市へと接続する路線や、市南西に位置するイーアス沖縄豊崎・アウトレットモールあしびなー・沖縄バス豊見城営業所から出発し、那覇市方面へと接続する路線があり、那覇市と緊密に連携しています。
- 市内を一周し、沖縄都市モノレール奥武山公園駅と連絡する豊見城市内一周バス（105番）が160円均一料金で運行しています。
- 市南西部に位置するイーアス沖縄豊崎とアウトレットモールあしびなーにおいては、両区間を往復するシャトルバスが運行されています。



【資料】地理院地図、バスマップ沖縄 (<http://www.kotsu-okinawa.org/>) を参考に作成

図 23 豊見城市で運行する路線バス



## (2) 運行頻度

- 沖縄バス豊見城営業所が 2022 年 4 月から開業し、27 番屋慶名線・32 番コンベンションセンター線・39 番南城線・43 番北谷線・87 番赤嶺てだこ線の一部が那覇 BT から豊見城営業所まで延伸したことで、県道 256 号では 80 往復/日以上が運行しております。
- 一方で、市東側の嘉数・長堂・金良・饒波や、南側の保栄茂・翁長では豊見城市内一周バス（105 番）のみの運行となっており、16 往復/日の運行に留まります。
- 豊見城や真玉橋・高安・上田など人口の多い地区でも、運行本数が少なくバスの利便性が低い状況が見られます。

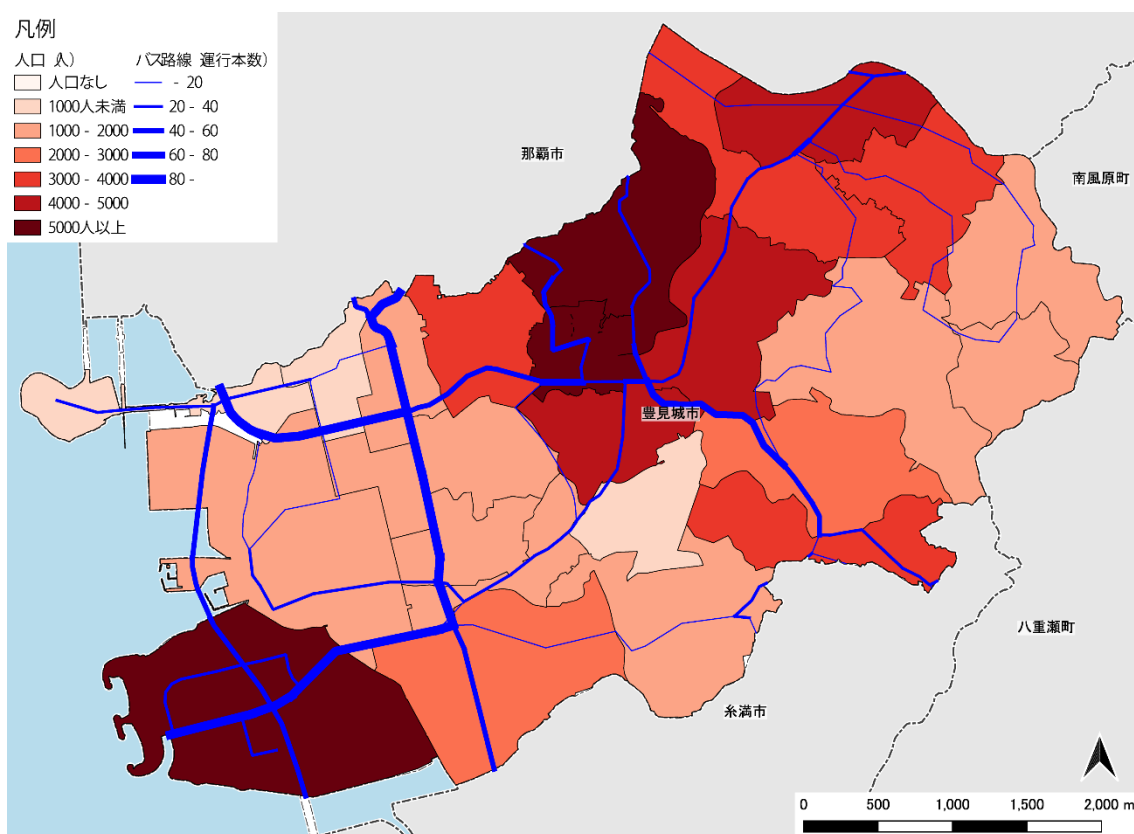


図 24 豊見城市内の区間別バス運行本数（往復/日）

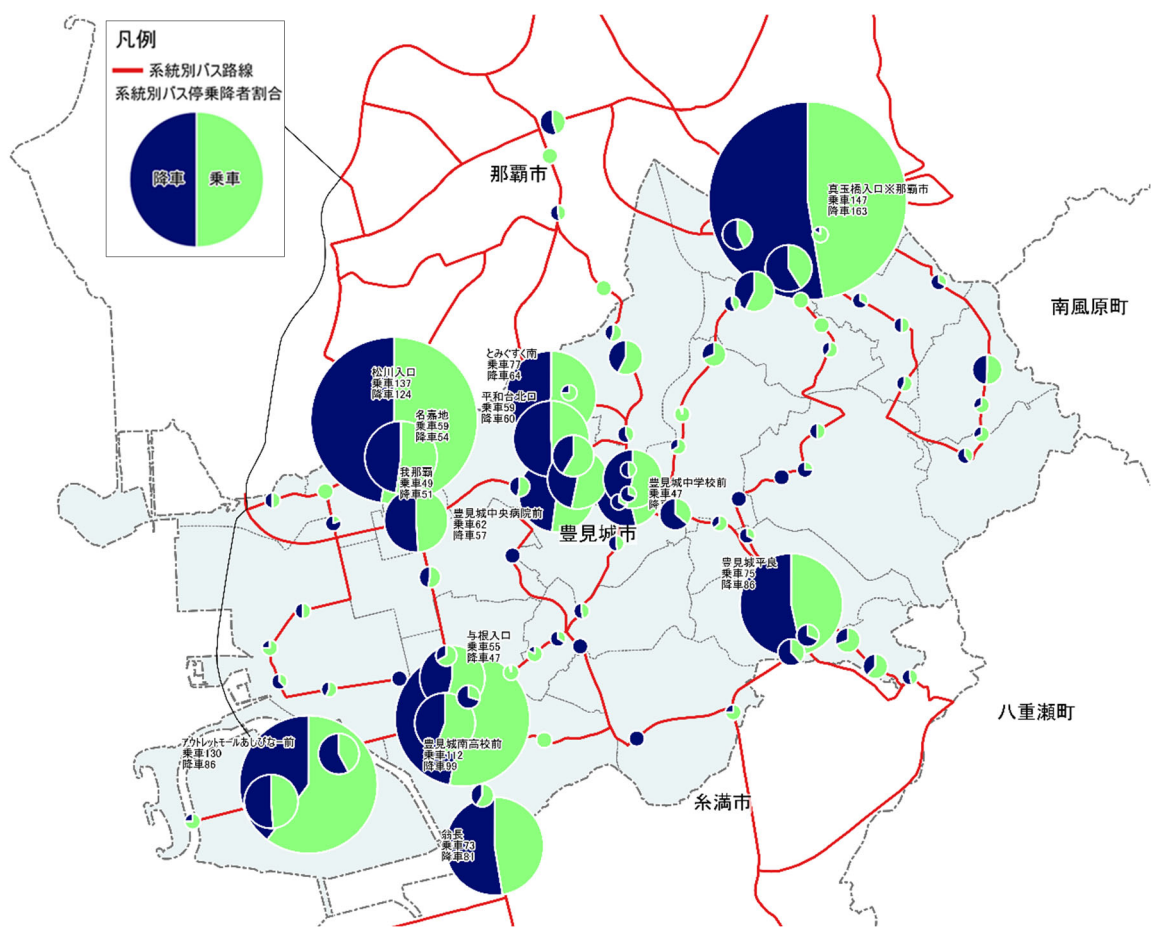
表 2 豊見城市内路線の運行本数

路線 番号	路線名	起点	終点	運行本数（往復）		
				平日	土曜	日祝
6	那覇おもろまち線	那覇 BT	おもろまち駅前広場	42	38	33
9	小禄石嶺線	具志営業所	石嶺営業所	50	42	38
11	安岡宇栄原線	具志営業所	石嶺営業所	32	26	20
17	石嶺（開南）線	具志営業所	石嶺営業所	15	16	0
27	屋慶名線	豊見城営業所	屋慶名 BT	4	2	2
32	コンベンションセンター線	豊見城営業所	真志喜駐車場	4	2	2
39	南城線	豊見城営業所	南城市役所	6	2	2
43	北谷線	豊見城営業所	北谷町役場	1	2	2
45	与根線	具志営業所	三重城	23	18	18
55	牧港線	道の駅豊崎	宜野湾営業所	20	18	18
56	浦添線	豊崎美ら SUN ビーチ前	西原四丁目（真栄原向け）	17	15	15
87	赤嶺てだこ線	豊見城営業所	沖縄療育園前	6	4	4
88	宜野湾線	豊崎美ら SUN ビーチ前	宜野湾営業所	3	0	0
89	糸満線	糸満 BT	那覇 BT	57	45	45
95	空港あしびな一線	イーアス沖縄豊崎	那覇空港	20	20	20
98	琉大線	道の駅豊崎	琉大駐車場下り	17	14	14
101	平和台安謝線	具志営業所	市場入口	8	8	0
105	豊見城市内一周線	豊崎美ら SUN ビーチ前	豊崎美ら SUN ビーチ前	16	8	8
256	浦添てだこ線	豊崎美ら SUN ビーチ前	てだこ浦西駅	3	4	4
446	那覇糸満線	那覇 BT	糸満営業所	29	29	29
SNG	瀬長島ライナー	瀬長島	国際通り入口	1	1	1
TK02	ウミカジライナー	糸満市役所	国際通り入口	24	21	21

【資料】 バスマップ沖縄 (<http://www.kotsu-okinawa.org/>) およびバス会社 HP を参考に作成

### (3) バス停別利用状況

- 沖縄県が平成 25 年度に実施した「沖縄本島路線バス利用促進方策検討に向けた調査報告書（平成 26 年 3 月、沖縄県）」によるバス OD 調査結果を利用して、豊見城市内のバス停の乗降者数を集計しました。
- 県道 11 号線沿いの真玉橋入口、豊崎地区のアウトレットモールあしびなー前、名嘉地付近の松川入口、名嘉地、豊見城中央病院前、平良・高嶺地区の豊見城市平良、国道 331 号沿いの豊見城市南高校前、翁長、宜保地区のとみぐすく南、平和台北口、豊見城中学校前等の利用が多くなっています。



【出典】沖縄県 H25 バス OD 調査

図 25 豊見城市内バス停の乗降者数



## (2) 補助金の交付及び市の負担状況

- 全体的な補助金額は平成 31 年 4 月のルート変更後に若干増加しましたが、国および県の補助増額によって市の負担はルート変更前と同程度で推移しています。

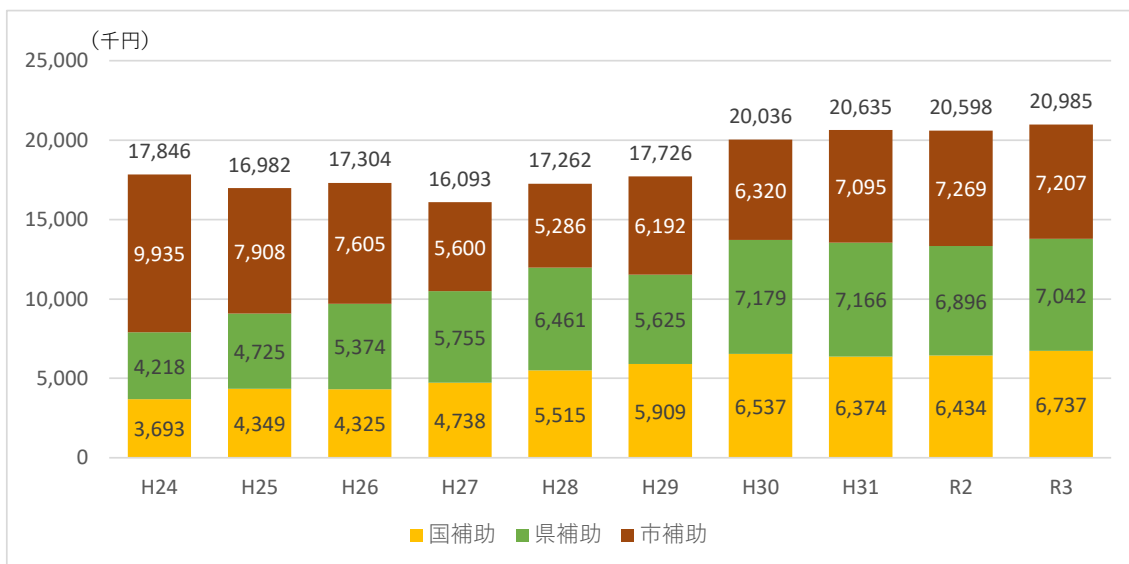


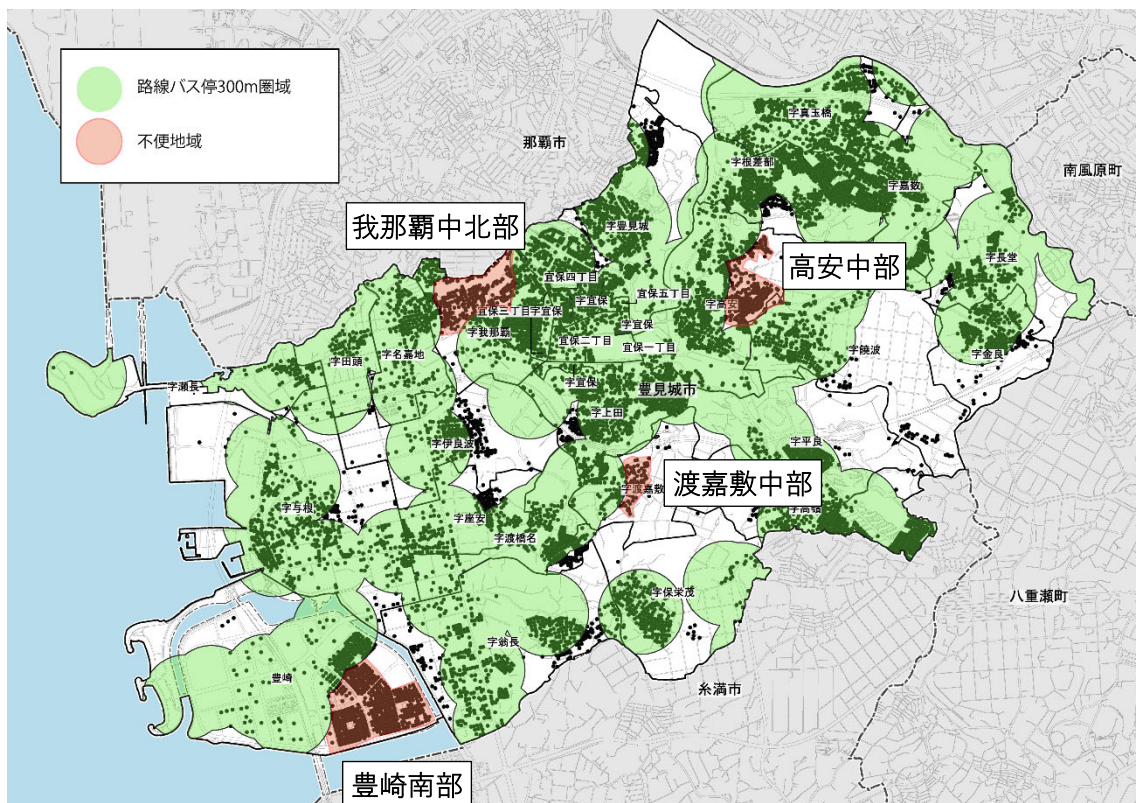
図 28 豊見城市内一周バス（105 番）の補助金額推移



## 2.1.3 公共交通のカバー状況

### (1) 公共交通不便地域

- 豊見城市においては居住状況等の実態に近づけるため、公共交通不便地域の条件を以下のように設定します。
  - A) バス停から 300m 以上離れた\*、バスを利用しづらい地域  
※「バスサービスハンドブック（土木学会）」によれば、歩行者が無理なく歩ける範囲は健常者で 300m、高齢者で 100m とされています。
  - B) 字毎の不便地域に住む居住者が字全体の 30% 以上\*ある連坦した地域  
※市内一周バス（105 番）がない場合の市内全体の公共交通不便地域に住む人口割合が約 3 割であることから、それ以下を目指すものとして設定します。
  - C) 上記 A)B) で設定した不便地域のうち、平成 29 年度都市計画基礎調査に基づく建物の分布状況から、一定数の集積が確認できる範囲
- 上記条件に基づいて市内の公共交通不便地域を抽出したところ、我那覇中北部・高安中部・渡嘉敷中部・豊崎南部の 4 地域が該当します。



【資料】バス会社 HP および平成 29 年度都市計画基礎調査を基に作成  
図 29 豊見城市の公共交通不便地域



## (2) 地区別の公共交通人口カバー率

- 人口メッシュ（100m）※を重ね合わせた分析では、豊見城市全体の公共交通人口カバー率は85.5%となっています（令和2年度国勢調査の小地域実績（年齢不詳者を含めた人口）を使用）。
- 前段で抽出した公共交通不便地域（我那覇・渡嘉敷・豊崎・高安の4地区）では公共交通人口カバー率が低く、特に高齢者のうち200人前後が公共交通不便人口となっています。

### ※100mメッシュ人口の推計方法

100mメッシュ人口は、豊見城市の24区別人口（令和2年）および、都市計画基礎調査（平成29年）における住宅系建物の延べ床面積をもとに推計しています。具体的には、100mメッシュごとに集計した住宅系建物の延べ床面積の割合に基づき、24区別人口を100mメッシュに按分しています。この際、各行政区に重心が含まれる100mメッシュに対して当該行政区の人口を按分します。

また、バス停から300mの範囲が交差する100mメッシュでは、300mの範囲の内側と外側における延べ床面積の割合により人口を按分しています。

字名	公共交通人口カバー率	人口	公共交通カバー人口	公共交通カバー人口(65歳以上)	公共交通不便人口(65歳以上)
豊見城	87.7%	6,824	5,986	1,094	153
宜保	100.0%	5,691	5,691	580	0
我那覇	67.3%	3,448	2,321	537	261
名嘉地	100.0%	1,683	1,683	277	0
田頭	97.4%	274	267	69	2
瀬長	100.0%	252	252	54	0
与根	93.9%	1,904	1,788	489	32
伊良波	65.8%	1,249	822	139	72
座安	80.9%	1,225	991	176	41
渡橋名	100.0%	1,522	1,522	268	0
上田	99.4%	4,810	4,782	1,150	7
渡嘉敷	57.0%	918	523	251	190
翁長	87.3%	2,656	2,320	528	77
保栄茂	87.9%	1,178	1,036	231	32
高嶺	98.5%	3,954	3,894	922	14
平良	88.3%	2,923	2,580	546	73
高安	71.4%	4,420	3,158	609	243
饒波	84.3%	1,249	1,053	283	52
金良	85.9%	1,103	947	302	50
長堂	89.1%	1,231	1,097	231	28
嘉数	99.7%	3,010	3,000	705	2
真玉橋	97.0%	4,421	4,288	836	26
根差部	95.2%	3,356	3,195	753	38
豊崎	38.1%	5,311	2,021	154	250
豊見城市合計	85.5%	64,612	55,217	11,184	1,643

公共交通不便地域

表3 豊見城市の地区別公共交通カバー率

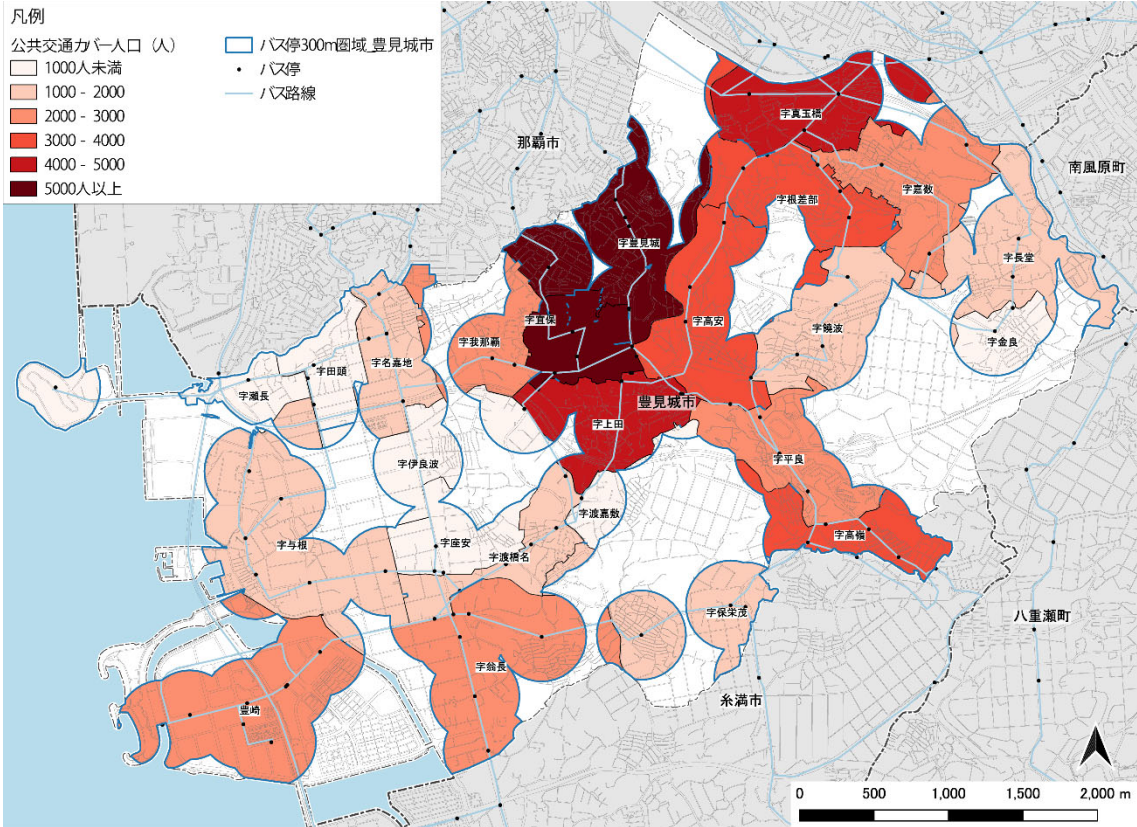


図 30 公共交通カバー圏域（バス停から 300m 圏）とカバー人口（全年齢）

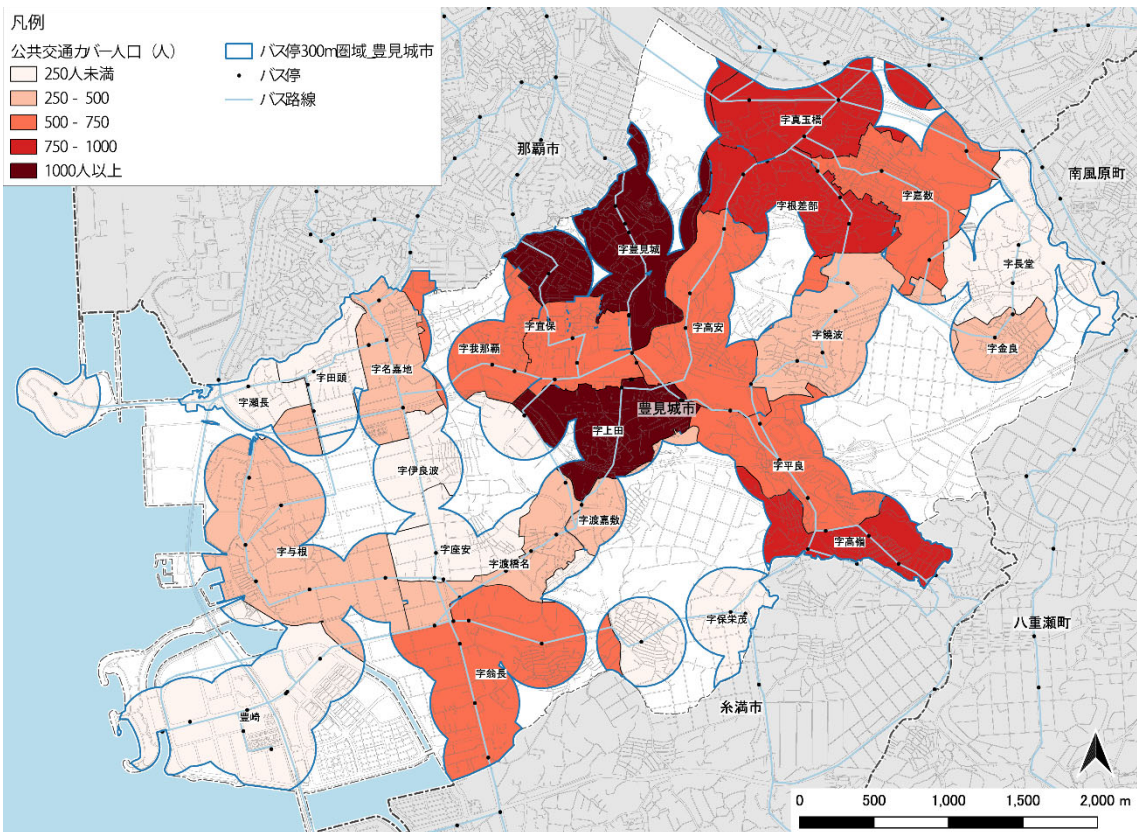


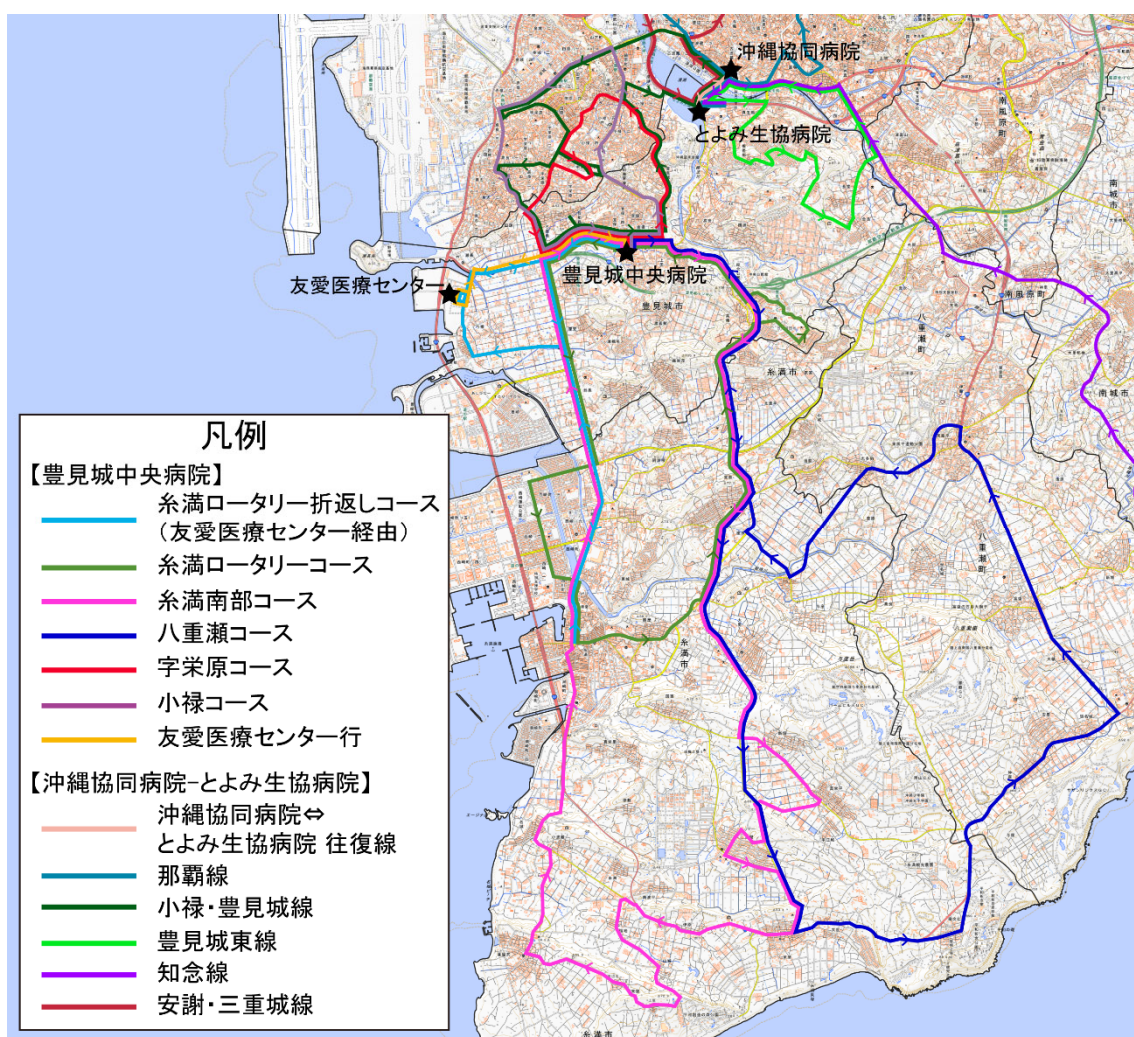
図 31 公共交通カバー圏域（バス停から 300m 圏）とカバー人口（高齢者）



## 2.2 その他公共交通の状況

### 2.2.1 病院送迎バスの運行状況

- 豊見城中央病院では、友愛医療センターとのシャトルバスを含む7ルートでの送迎バスを運行しています。
- とよみ生協病院では、沖縄共同病院（那覇市古波蔵）との間をつなぐ6ルートでの送迎バスを運行しています。



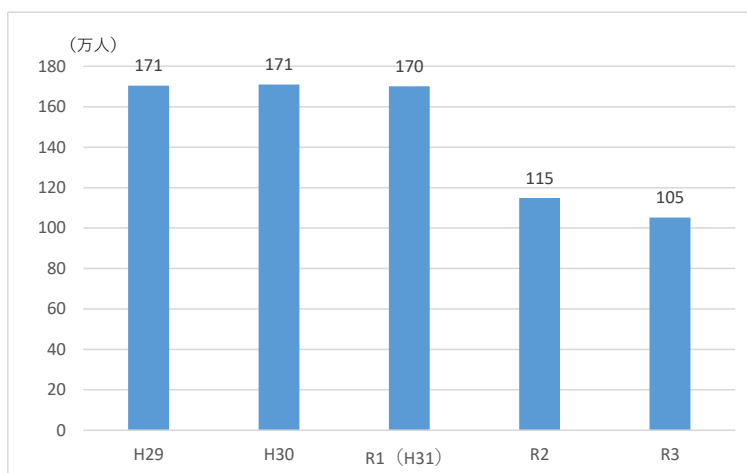
【資料】 各病院 HP を参考に作成

図 32 豊見城市内の病院送迎バス運行状況

## 2.2.2 タクシーの運行・利用状況

### (1) 市内タクシー輸送人員（過去5年間）

- 豊見城市内に事業所があるタクシーの輸送人員は、平成29年度以降は横ばい傾向でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度以降の利用が落ち込んでいます。



※豊見城市内6事業者の合計

【資料】 沖縄県ハイヤー・タクシー協会及び事業者提供データを基に作成

図 33 市内タクシーの輸送人員

## (2) 豊見城市外出支援サービス助成事業実績（過去5年間）

- 豊見城市では福祉サービスの一環として、要介護3・4・5の方々を対象として、自宅から医療機関等への送迎を利用する方へ1枚あたり450円の利用券を月4枚支給しています。
- 実利用者は月平均3枚程度利用しています。
- 平成30年度までは年間20万円以上の助成額でしたが、令和元年度以降は16万円前後に留まっており、コロナ禍において利用が減少しています。

表4 豊見城市外出支援サービス助成事業実績

年度	登録者		実利用者		助成実施回数		実利用者一人当たりの平均助成回数(月) C' / B'	助成金額 C × 450
	年間延べ人数 A	月平均 A' = A / 12 か月	年間延べ人数 B	月平均 B' = B / 12 か月	年間実施回数 C	月平均 C' = C / 12 か月		
H29	289	24.1	168	14.0	473	39.4	2.8	212,850
H30	264	22.0	173	14.4	504	42.0	2.9	226,800
H31(R1)	270	22.5	123	10.3	365	30.4	3.0	164,250
R2	266	22.2	105	8.8	307	25.6	2.9	138,150
R3	362	30.2	130	10.8	362	30.2	2.8	162,900

【資料】障がい長寿課提供データを基に作成

### 3. 公共交通に関する現況のとりまとめ

1 人口と施設立地等	1.1 人口	1.1.1 人口の推移
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊見城市の総人口は増加しており、令和2年は64,014人（年齢不詳者を除く）</li> <li>・15歳未満の割合は横ばい、65歳以上の割合が増加しており、少子高齢化が進行</li> </ul>
		1.1.2 人口の分布
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊見城市内の人口は、豊見城・宜保・豊崎地区に集中</li> <li>・上記以外に真玉橋・高安・上田などの地区で人口が多く分布</li> <li>・高齢者人口は豊見城・上田地区で1,000人以上と多い</li> <li>・県道256号沿いの名嘉地・田頭・瀬長・伊良波・座安では高齢者が各地区250人以下と少ない</li> <li>・渡嘉敷・金良では高齢者（65歳以上）の人口割合が30%以上と高い</li> <li>・豊崎・名嘉地・宜保では高齢者（65歳以上）の人口割合が15%以下と低い</li> </ul>
		1.1.3 将来予測
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊見城市の人口は2035年（R17年）には約7万人まで増加</li> <li>・高齢化の進展は全国平均よりも遅いが、2025年（R7年）には高齢化率が約22%に到達</li> <li>・全年齢人口は市全体で増加し、特に豊見城・宜保・平良・保栄茂・豊崎・与根の各地区では15%以上増加</li> <li>・令和22年の時点で、高齢者は宜保・根差部・嘉数・高嶺の各地区で800人以上に到達</li> <li>・高齢者人口も市全体で増加し、特に宜保・瀬長・豊崎の各地区で100%以上の増加</li> </ul>
		1.1.4 従業者数の分布
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宜保・豊崎に集中</li> <li>・名嘉地・根差部・高安等においても、比較的多い</li> </ul>
1.1.5 市外への通勤通学の状況		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外への通勤・通学が多いのは市北側の真玉橋・豊見城と、中央部の宜保・上田・高安</li> </ul>		

1 人口と施設立地等	1.2 施設立地	1.2.1 公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央に位置する豊見城市役所と、その周辺に郵便局・消防署・中央図書館・総合公園・中央公民館などが点在</li> <li>・市内各地に各地区の公民館や地区・団地等の自治会が点在</li> <li>・与根地区には豊見城市民体育館が立地</li> </ul>	
		1.2.2 病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合病院は豊見城中央病院・友愛医療センター・とよみ生協医院・大浜第二病院の4箇所</li> <li>・小規模医院は宜保・真玉橋など人口が集中している地域を中心に立地</li> </ul>	
		1.2.3 福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設は、宜保・豊見城地区を中心に立地</li> <li>・名嘉地・高嶺・真玉橋の国道、主要地方道沿いにも立地</li> </ul>	
		1.2.4 商業施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宜保・豊崎・豊見城団地を中心に立地、市内各所にコンビニエンスストアが立地</li> </ul>	
		1.2.5 学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校は豊見城・高安・上田・饒波・高嶺・伊良波・座安・豊崎に立地</li> <li>・高校は市内に3校、真玉橋・長堂・翁長に立地</li> </ul>	
		1.3 土地利用状況	1.3.1 土地利用現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地地域や国道沿いに住宅用地が存在、市西部では工業用地の一定の集積がある</li> <li>・市東部では山林が広がっており、市街地地域とそれ以外の地域で土地利用傾向が異なる</li> <li>・市南西部ではイーアス沖縄豊崎・アウトレットモールあしびなーなど商業地域の開発</li> <li>・与根地域では友愛医療センターが立地</li> </ul>
			1.3.2 建物現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊見城市全体では1～2階の低層建物が多い</li> <li>・宜保・平良地区などでは3階以上の高層建築がある</li> </ul>
	1.4 道路及び自動車の状況		1.4.1 道路の概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊見城市の海側を南北に貫く豊見城道路と市を東西に貫いて小禄バイパス経由で那覇空港に直結する那覇空港自動車道を中心として、西側の平野部と東側の山間部を網の目のように張り巡らされている</li> <li>・奥武山公園方面からは県道7号線（奥武山米須線）が市中心に位置する市役所脇を走り、糸満市へと抜けている</li> </ul>

	1.4 道路及び自動車の状況	1.4.2 自動車保有台数の推移
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車総保有台数は令和2年度まで増加傾向にあったが、令和3年度は乗用台数が減少</li> <li>・観光需要の増加に従ってレンタカーも増加傾向だったが、令和3年度は新型コロナ感染拡大の影響を受け、台数が減少</li> </ul>
	1.5 観光	1.5.1 観光客の状況
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の観光入込客数は平成24年以降外国客が増加し、平成30年には県外客・外国客計で1,000万人を超過</li> <li>・令和2年2月に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で空路・海路の国際線運航が停止され、令和2年度は外国客がゼロ、県外客が258万人に</li> <li>・観光客が沖縄県内での移動で使った交通手段はレンタカーが約6割</li> </ul>
		1.5.2 観光地の立地
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊崎地区や瀬長島には、ホテルや水族館・アウトレットモールなど、観光客向けの施設が多く立地</li> <li>・グスクやシーサーなどの歴史的遺物が市内全域に点在</li> </ul>
2 公共交通の現状	2.1 路線バスの運行・利用状況	2.1.1 運行状況
		(1)運行ルート
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスは、糸満市から那覇市へと接続する路線や、市南西に位置するイーアス沖縄豊崎・アウトレットモールあしびなー・沖縄バス豊見城営業所から出発し、那覇市方面へと接続する路線がある</li> <li>・市内を一周し、沖縄都市モノレール奥武山公園駅と連絡する豊見城市内一周バス（105番）が160円均一料金で運行</li> <li>・市南西部に位置するイーアス沖縄豊崎とアウトレットモールあしびなーにおいては、両区間を往復するシャトルバスが運行</li> </ul>
		(2)運行頻度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・27番・32番・39番・43番・87番が那覇BTから豊見城営業所へ延伸したことで、県道256号は80往復/日以上が運行</li> <li>・市東側（嘉数・長堂・金良・饒波）・市南側（保栄茂・翁長）は豊見城市内一周バス（105番）のみの運行</li> <li>・豊見城や真玉橋・高安・上田など人口の多い地区でも、運行本数が少なくバスの利便性が低い状況に留まる</li> </ul>



2 公 共 交 通 の 現 状	2.1 路線バスの運行・利用状況	(3)バス停別利用状況
		・真玉橋入口、アウトレットモールあしびなー前、松川入口、名嘉地、豊見城中央病院前、豊見城平良、豊見城南高校前、翁長、とみぐすく南、平和台北口、豊見城中学校前等の利用が多い
		2.1.2 豊見城市内一周バス（105番）
		(1)運行ルートと輸送人員
		・市内の補助路線は豊見城市内一周バス（105番）1本 ・輸送人員は平成31年4月のルート変更で一時的な減少が見込まれたが、12か月中4か月は前年同月よりも増加 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年から1割程度輸送人員が減少
		(2)補助金の交付及び市の負担状況
		・補助金額は平成31年4月のルート変更後、若干増加 ・国および県の補助増額によって市の負担額はルート変更前と同程度
		2.1.3 公共交通のカバー状況
		(1)公共交通不便地域
		・バス停から300m以上離れていて、かつ字毎の不便地域に住む居住者が字全体の30%以上ある連坦した地域を「公共交通不便地域」と設定 ・居住実態に合わせるため、上記不便地域の中から平成29年度都市計画基礎調査の建物分布状況に基づいて、一定数の集積が確認できる範囲を抽出 ・市内では「我那覇中北部」「高安中部」「渡嘉敷中部」「豊崎南部」の4地域が不便地域に該当
		(2)地区別の公共交通人口カバー率
		・人口メッシュ（100m）を重ね合わせた分析によると、豊見城市全体の公共交通人口カバー率は85.5% ・我那覇・高安・渡嘉敷・豊崎の4地域では、高齢者のうち200人前後が公共交通でカバーされていない
	2.2 その他公共交通の状況	2.2.1 病院送迎バスの運行状況
	・豊見城中央病院では、友愛医療センターとのシャトルバスを含む7ルートでの送迎バスを運行 ・とよみ生協病院では、沖縄共同病院（那覇市古波蔵）との間をつなぐ6ルートでの送迎バスを運行	

2 公共交通の現状	2.2 その他公共交通の状況	2.2.2 タクシーの運行・利用状況
		(1)市内タクシー輸送人員
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度以降は横ばい傾向</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響によって令和 2 年度以降の利用が落ち込む</li> </ul>
		(2)外出支援サービス
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊見城市では要介護 3・4・5 の方々を対象に、医療機関等への送迎用に 1 枚あたり 450 円の利用券を月 4 枚支給</li> <li>・実利用者は、月平均 3 枚程度利用</li> <li>・平成 30 年度までは年間 20 万円以上だった助成額が、令和元年度以降は年間 16 万円前後まで減少</li> </ul>